

評価のポイント

- 健康くさつ21(平成25～34年度)について、中間年度であることを踏まえ、評価を実施し、その評価結果および健幸都市宣言や基本計画の策定、地域共生社会の動きを踏まえ、他の計画の整合も鑑みて計画の見直しを検討
- 中間評価に基づき、以下の見直しを実施
 - ・ 計画期間:1年延長
 - ・ 基本目標:目標達成により上方修正、わかりやすい表記に改訂
 - ・ 基本理念、基本的な方向:継続
 - ・ 重点施策:「働く世代の健康づくり」「地域で取り組む健康づくり」「企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくり」を新たに位置づけ。重点施策毎に重点評価指標を設定

計画の枠組み

理念

誰もが健康で長生きできるまち草津
～健康寿命の延伸と健康格差の縮小～

基本目標

健康寿命の延伸(0歳からの平均自立期間の延伸)
男性 83.49年(平成28年度 81.42年)
女性 84.72年(平成28年度 85.35年)

期間

平成25～35年度

基本的な方向

- 1 生活習慣の改善
- 2 生活習慣病の発症予防と重症化予防
- 3 社会生活を営むための心身機能の維持・向上
- 4 健康を支えるための地域の絆による社会づくり

重点施策

- 1 糖尿病の発症予防と重症化予防の推進
- 2 子どもの頃からの健全な生活習慣の確立
- 3 働く世代の健康づくり
- 4 地域で取り組む健康づくり
- 5 企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくり

重点施策に基づく取組

()内は、重点評価指標

① 糖尿病の発症予防と重症化予防の推進(糖尿病有病者の増加抑制)

- 糖尿病の正しい知識の普及や生活習慣の改善に向けた周知啓発の更なる推進
- 健診・保健指導の実施率向上や重症化予防の取組の推進
- 糖尿病対策ガイドラインに基づく、分野横断的な取組の推進

主な事業:特定健診・保健指導の実施率向上に向けた取組(拡充)など

② 子どもの頃からの健全な生活習慣の確立(朝食を食べない子どもの減少)

- 保育所等、学校等での食・運動などの健康づくりの取組の継続
- 妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援
- 地域での食や運動の取組の推進や子ども自身が健康づくりを学び、実践できる環境づくり

主な事業:児童生徒を対象とした朝食を食べない子どもの減少に向けた取組、野菜の栽培・収穫を通じた食育の推進、食育料理教室など

③ 働く世代の健康づくり(運動習慣者の増加)

- 企業や団体、協会けんぽ等の被用者保険組合と連携した健康増進対策へのアプローチ
- 企業への健幸都市宣言賛同の働きかけ、企業と連携した健康づくりの取組の推進
- 働く世代が利用する施設等での健康づくりのイベント等健康への関心を高める取組の推進

主な事業:くさつヘルスアッププロジェクト(くさつ健幸ポイント制度、禁煙推進事業、食と運動のヘルスチェックデー)など

④ 地域で取り組む健康づくり(健康推進員の増加)

- 地域ごとの健康状態についてのデータ分析や地域の健康特性等の情報提供の実施
- 地域で活動できる健康づくりサポーターの育成や活動しやすい環境づくりの推進
- 地域課題解決に向けた協働のまちづくりの推進

主な事業:健康推進員養成講座、健康推進員の現任研修、認知症サポーター養成講座など

⑤ 企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくり

(外食栄養成分表示店等の増加)

- 健康づくりの情報の共有や多種多様な主体の協働による健康づくりの取組の推進
- 市、他機関、団体等との連携による健康づくりに関する情報の発信の推進

主な事業:くさつヘルスアッププロジェクト(食育推進デー、禁煙推進事業)、草津版ヘルスツーリズムの構築に向けた調査・検討 など